

あなたの声を町政に

九人が一般質問（質問順）



がんばれ！！油木高校野球部

問 教育委員会の機能は

答 指導者の充実等基礎づくりだ



小林 貢議員

Q 新教育長として、教育行政の機能すべきポイントをどの様に捉え、どの様な抱負をお持ちか。

A 教育長

教育行政の当事者能力を高めると共に学校・家庭・地域の連携が重要であり、情報開示による共有化、教育行政機能の充実のため、専門的職員の配置、指導者充実のた

めの研修等基礎作りがポイントとなる。

子どもの生きる力を育てる教育、それを支える地域社会の創造をめざし学校・地域社会にアンテナを向け、行動力をもつて最善を尽くしたい。

Q 県立油木高校の存続在の関わり、今後の対応策は。

A 教育長

どんな子どもを育てるか、中学校のゴールのイメージは地元油木高校への進学であり、高校が充実し開花する事である。昨年度の入学者減を踏まえ、取り組みについての検証、課題整理をし、

現在、関係機関と取り

組みについての協議・各中学校の高校への体験入学・新町での油木高校を育てる会の新組織構築等が進められているが、会合ある毎に油木高校の特色や地域での役割についての周知も図っている。早速に中高担当者の意見交換、高校のPR周知等関係機関との連携を密にし取り組む。

問 県立神石三和病院存続の見通しは

答 県の地元移管の意思は極めて強い



片山元八郎議員

Q 県立神石三和病院の存続を願ひ、議会と執行部共同歩調で二度県庁へ出向き、陳情等を積極的に行ってきた。

五月九日、あくまでも県立での存続を求め、福祉保健部長に提言書を手渡した。部長は「地元移管に当たり、神石高原町民に不安を与えないよ

う、説明責任を果たし、ソフトウェア（軟着陸）を目指したい」「県が具体的な提言をする窓口を町当局に設置してほしい」と言われた。

これまでの経緯から、県立神石三和病院の存続の見通しはどうか。

A 町長 県立のままで公設民営化を求めたが、県の地元移管の意思は極めて強い。合併前の確認書等は白紙に戻す。瀬戸田病院の地元移管が平成十八年なので、神石三和病院は十九年以降となる。事務レベルでの協議を五月三十一日開始した。

Q 小島出身の加納医師が、県立神石三和病院の行方を心配され、何度も書簡を頂いた。先生は県立での存続は百パーセント不可能と断言され、「認定医療法人」となる受皿がベストと言われた。「認定医療法人」とは？

A 町長 勉強不足だが、アメリカ型の非営利法人を基に二〇〇六年度法制化の予定。地域密着型の医療制度の立上げと認識している。



町道泊木豊松線

問 公共事業に町内業者を

答 基本的には町内業者を優先



松本彰夫議員

Q 町内の公共事業は、建設工事指名業者選定要項にもつき、指名されている。土木工事は、一億円以上は大手業者を指名し、町内業者は入れない。町内の雇用の確保、地元企業の育成という観点から町内業者を優先するべきではないか。

A 町長 基本的にはそう考えている。特殊な事業については管理能力の問題もある。地元企業も研鑽努力して頂きたい。

今後は、原則的には地元業者を優先するように努める。

Q 油木地区の学童保育を充実させるため会場を変更するよう要望が出ている。早急に取組むべきではないか。

また、障害児の受け入れについて、どう取り組むのか。県では指導員の加配について補助制度もある。

A 町長 学童保育の会場については、総合学習棟を使用すべきと考える。教育委員会とも協議し、早く結論を出す。

助役 障害児の受け入れは、子どものためにベターな対策をとる。調査し、必要なら指導員の加配も行う。

Q 老人介護事業について委託料など統一すべきではないか。

A 町長 委託業務について、緊急通報システムなど施設により差がある。今までの経過もあるが、是正して統一したい。



学童保育

問 地産地消と食育の取り組みは

答 地元産物の利用に努めたい



赤木健二議員

施設等関係機関と協議して、地元産食材の利用に努めたい。

Q 町長は本町を教育立国にしたいとの所信を明らかにされている。

の例を見ても立証されている。

米をはじめ、野菜や果物、加工品等大半の食材が地元で賄える。

米をはじめ、野菜や果物、加工品等大半の食材が地元で賄える。

地元農家での体験学習や食文化を学習することにより、正しい食生活の指導と生活習慣の確立ができる。

十八年度から食育を基に教育立国の第一歩を踏み出している。

でき、教育効果が上がることも、各地の教育現場

意見には賛成である。

教育長

食育の観点から、生産者の顔が見える地元産食材を通して、ご飯の向こうに汗して働く生産者の姿を、子どもたちが学び感じる学習を取り入れることが必要。

第一段階として、町内産の米使用について、県・学校給食会・地元販売

の状況は、十年後の職員数は一七〇人程度の方針に変わりはないか。

Q 職員の専門的な研修

の状況は、十年後の職員数は一七〇人程度の方針に変わりはないか。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

町長 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。職員数については、権限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。



地域協議会

問 行政懇談会の開催は

答 要請があれば出席する

Q 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？



久保田龍泉議員

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

町長 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？



油木小学校給食

問 担い手の育成支援策は

答 集落営農を推進



小坂大輔 議員

Q 担い手の高齢化により家族経営による農業も不安定感を感じる時、集落営農が担い手として位置づけられたことは意義あることだと思う。「集落営農」への推進計画、支援策は。

土地利用型専業農家の育成・支援策は、「農業公社」の育成強化が望まれるが、育成策は。

「企業」参入による農地管理・農作物生産を担い手として位置づける支援策があるのか。

A 町長 農地を守る、人を守るを理念とするなら「集落営農」は必要であり、支援策を考えたい。二つの「農業公社」があり、費用対効果を考えながら一体的な公社にしたい。「企業」参入による農地保全は、県の業者への指導のあり方を見ながら町としての対応を考えたい。

問 干ばつ緊急対策を

答 調査して対応する

Q 十一年ぶりの大干ばつに見舞われている。今後もしばしば続く見込みは免れない。

ポンプ等整備し対応作業を見受けるが、干ばつが続けば被害は拡大し機器整備も増える。

行政の緊急対策が必要ではないか。

A 町長 個人補助は調整上難しいと思うが、調査した上で十分対応はしていきたい。

Q 新町建設計画への新規事業として、総事業費一七〇億円の「特定中山間保全整備事業」を

導入したら、全体的にも波及効果が期待できるのでは。

A 町長 導入すれば計画のプロジェクト事業になる。現計画をフォローする意味からもこの事業に取り組みたい。



瀬尾征爾 議員

Q 井関地区の第一種農地四ヘクタールの活用は。

A 町長 神石高原町総合開発計画の提案を、専門業者に委託している。



農事法人よしざこ（産業建設常任委員会）

Q 町道整備計画で二車線改良があるが、一五車線に変更し、早期完成を目指すべきではないか。

A 町長 県道も一五車線改良が主流、町道も計画を見直しスピードアップしないと高齢化社会にマッチしない。

建設課長 一五車線にした場合、

Q 延長で一・四倍で、四年計画なら二十年十月で完成する。

A 町長 行政の普通財産は不稼働資産が多く、売却したらどうか。

A 町長 宝の持ち腐れ財産もあり、売却の方で検討していきたい。

問 チャイルドファーストの施策を

答 前向きに検討する

Q 少子化対策は、あくまでも「子どもの立場」からの取り組みが大切であり、「生まれてきて良かった」と思われる社会を築くため、「チャイルドファースト」(子ども優先)の施策を総合的に実施すべきでは。

A 町長
一次世代育成支援計

画」により取り組んでいるが、さらなる支援は前向きに検討したい。

Q 絵本を通して楽しく子育てをし、さらに親子のコミュニケーションのための「ブックスタート」を実施すべきでは。

A 町長
図書館の整備・充実をして対応したい。
教育長
読書は、子どもが言葉の学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする。人生をより良く生かすため、欠かすことができないもので、基礎学力の基盤をなすもの



寄定秀幸 議員

であり、乳幼児期から本と親しむ環境づくりは必要である。
福祉保健課長
検討し取り組みを考え

Q 学校運営協議会制度導入は。

A 教育長
当面、学校評議員制度を推進していく。

Q 連日の猛暑の中、学校の暑さ対策はどう

A 教育長
窓の開放で対応し、エアコンや扇風機は設置しない。
Q 園芸療法を介護予防に取り入れるべきでは。

A 福祉保健課長
希望があれば、行政としても推進す



小島保育所七夕

問 財政改革と建設計画について

答 主体性を持って自ら取り組む



木野山孝志 議員

Q 財政再建に向けての財政審議会は二本立てと聞いている。基本は住民参加、情報開示だと思うが、どうなっているのか。名称、委員構成、指針、支所機構等具体的に。

A 町長
行財政審議会はス

ターゲット時点から町長が本部長として指針を行財政改革大綱として策定しそれを民間で充分審議していただき、よりよい大綱に仕上げる。委員数は十名を予定し準備中である。建設計画は最初から見直しありきでは無く、合併協定の約束事は充分

に尊重して改革を行う。支所機構については基本的に行政改革大綱の中で示したい。

Q 町全体を観光資源と考えると、町の長期総合計画に観光をどう位置づけるのか、都市等との交流について具体的に

A 町長
町全体を観光資源と考える事は私も同感である。担当課を企画課に代えたのは将来の企画性を高めるためであり、町の産業振興の中で観光を重要な位置づけにしたいからだ。神石高原町全体の自然を生かし備後都市

圏のふると、里山づくりにとも考えている。高原町のネーミングから「神」が宿るふるとづくりを都市との交流の中で形成したらどうか。都市等との姉妹縁組、交流については、十八年三月の段階で行政も落ち着いたところで協議し決定したい。



ピープ天国